

無限大+

I C T活用の可能性は無限大、子どもたちの発想力・成長は無敵大、ということで、タイトルは研究通信発行年から「無限大」になりました。昨年度からは、そこに新しい教職員、子どもたちで新しい挑戦！と意味を込めて「+」（プラス）を入れています。今年度も「+」で頑張ります。

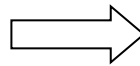
三田市立志手原小学校 研究通信 No.1 2023. 8. 29

学習指導要領が改訂され、志手原小学校では今年度も昨年度同様、I C Tを活用した学習を進めています。子どもたちが、変わりゆく社会を生き抜いていく力を身に付けるための後押しをしていきたいと考えています。

そこで、保護者の皆様や地域の方々に「志手原小学校ではどのようなことをしているのか」を少しでもご紹介できればと思い、この通信を出していきます。よろしくお願いします。

【今年のI C Tを活用した学習のテーマ】

- ・プログラミングの体験
- ・ロボットとの出会い



目標

「友だちとつながり、お互いに学びを深めていく」

○プログラミング教育

プログラミング教育の目的は「ゲームやロボットの仕組みを作ることができるようになる」ではありません。ゲームやロボットの仕組みを作ったり、その仕組みを知ったりすることで課題解決のための効率的な手順や方法を考える力を育てることです。

つまり、理想とする結果（ゴール）に向けて現状（スタート）からどのように手順を踏みどのように進んでいくのかを考える学習です。この力は、子どもたちがそれぞれの夢に向かって将来を設計していくことにもなるのではないのでしょうか。

○学習の紹介（5年生）

5年生では、ロボットを使ってプログラミングの体験をしました。トラックのロボットを想定して、荷物を届けるための道のりをチームで考えました。

「右に曲がる」「前進する」など交差点でトラックが進む方向を考えて、ロボットに指示を出しました。

